

# 令和3年度 土佐町社会福祉協議会事業報告書

## 〈事業総括〉

新型コロナウイルス感染症の影響が出始めて2年が経過し、ワクチン接種もすすみ新しい生活様式等、私たちの暮らしが一変してきました。

地域福祉活動の基盤は、「つながりづくり」ですが、コロナ禍によって、自由な移動が制限され、オンラインでのコミュニケーションが新たな常識にもなって参りました。人と人との互いに距離をとり、接触する機会を減らすことが強く求められた為、地域福祉事業のほとんどが影響を受けるなか、社協として「何をすべきか」を「どうすればできるか」に思考を展開して、地域における支え合いや在宅生活支援の方法を模索する年度となりました。

法人運営部では、人事評価要綱を定め、「人事評価・個別目標シート」を作成。職員が目標をもって業務にあたり組織力の向上に取り組むためのシステムをすすめました。嘱託職員・パートタイム職員も含め働きやすい職場環境をつくり、安定的な職員の確保に向けて努めました。

在宅福祉部では、多様な生活課題が見えてきた中、「生きづらさ」を抱えている方々への対応や、個別支援をしていく為に、アセスメントの重要性を再確認しました。事例検討等を通じその人の持っている強みやニーズ把握に努め、支援に取り組みました。

地域福祉部では、コロナ禍にあってもできることを模索した年となりました。「集う」事の大切さを痛感しながら、ウィズコロナという新たなつながりづくりをすすめ、心の交流を絶やさない活動に取り組みました。

さらに、地域福祉活動計画推進においても、徐々にではありますが各地区での取り組みも再開されはじめました。

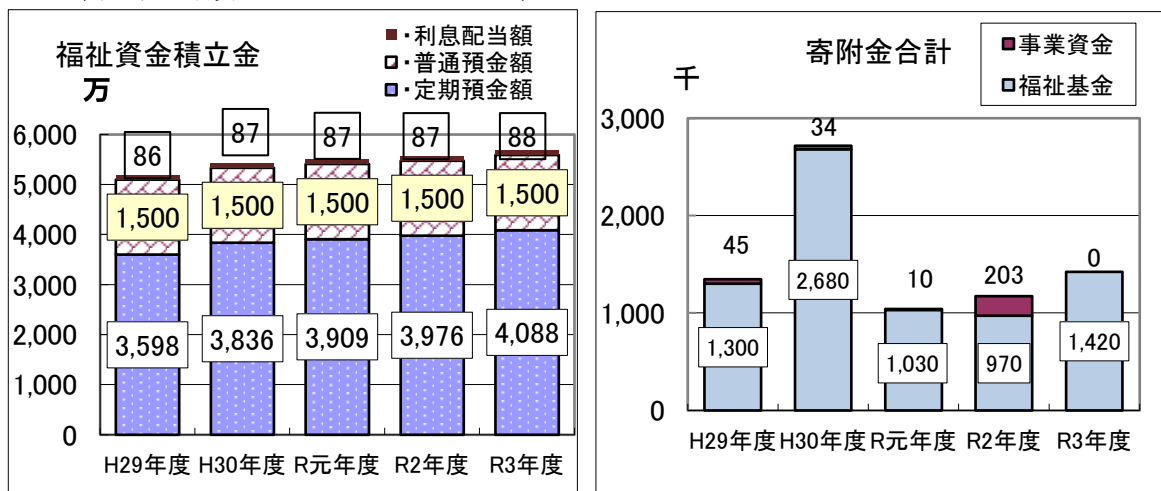
## ◆法人運営部門◆

信頼を高めるために、情報発信を強化すると共に、住民の皆様との対話を大切にしてきました。また、福祉事業推進のための財源確保に努めました。

- (1) **社会福祉大会の開催** 町と協議の上、福祉大会は実施なし  
100歳表彰の該当者に会長よりお祝い品を贈る  
池添穂穂様 下田忠子様
- (2) **福祉とさちょうの発行** 2,300部 3回  
▶ アンケートを実施し、福祉とさちょうと地区長会で結果報告
- (3) **ホームページの運用**  
▶ 専門職の指導を受け運用をすすめた 2回
- (4) **フェイスブックの運用**  
▶ フェイスブックを活用し、行事のお知らせや報告、寄附の依頼、啓発活動等  
行った  
記事アップ数 33回  
いいね数 663件  
リーチ数 12,511件
- (5) **地区長会における事業理解促進** 4回
- (6) **マスコミ・他の広報紙等への掲載** なし
- (7) **各地域、団体を対象とした社協事業説明** なし
- (8) **募金・寄付・会費増強への取り組み**  
▶ 地区長会において説明、協力の依頼実施  
○ 寄附活動への理解を促進し、福祉基金・事業資金への寄付を受け入れた  
▶ 福祉基金寄附金 16人 寄附額 1,420,000円  
▶ 事業資金寄附金 なし

○ 福祉基金積立額

- ▶ 定期預金額 40,884,680 円
- ▶ 普通預金額 15,000,000 円
- ▶ 利息配当額 878,218 円



○ 地域支援金事業の促進 (令和3年度実施事業)

- ▶ カレーの日実行委員会 110,000 円
- ▶ 地藏寺自主防災組織 106,920 円
- ▶ 平石地区 200,000 円
- ▶ 和田を元気にする会 100,000 円
- ▶ 黒丸地区 106,000 円

○ 共同募金について住民への周知に努め募金活動を実施した

- ▶ 一般募金 目標額: 919,000 円 実績額: 996,329 円
- ▶ 共同募金配分金事業(一般募金配分額:621,543円)

高齢者福祉事業として老人給食を実施していたが、新型コロナウイルスの感染予防対策やボランティアの負担等から今後の事業継続について検討会にて協議するとともに、昨年から引き続き見守り訪問活動を行った。感染予防の啓発物やお弁当購入費と訪問ボランティアへの実費弁償費に、また社会福祉大会中止の為100才記念の経費、広報費として活用した

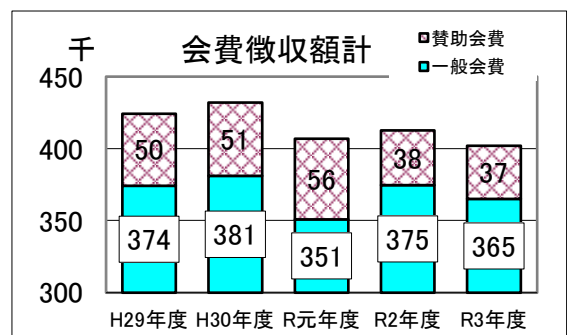
○ 日本赤十字社土佐町分区として、活動資金募集を行った

- ▶ 日赤活動資金 目標額: 634,000 円 実績額: 562,500 円

○ 賛助会員加入推進と会費の徴収に努めた

(一般会員:300円・賛助会員:1,000円)

- ▶ 会費徴収額 365,000 円
- ▶ 一般会費 1,218 世帯
- ▶ 賛助会費 37人(役職員等)



各法令や計画に基づき、確実かつ合理的な業務ができるよう改善を図りました。

(1) **社協強化・地域支援計画におけるPDCAサイクル実施**

- ▶ 9月に中間報告を作成し、推進状況を確認
- ▶ 業務目標における計画への具体的な取り組みを推進

(2) **職員会等における定款・規程・要綱・マニュアルの確認**

- ▶ パートタイム職員への説明 1 回
- ▶ 嘱託職員への説明 1 回
- ▶ 職員会における就業規則の説明 実施なし

(3) **委託事業の評価と今後の方針について行政と協議** 2 回

(4) **団体事務の合理化と団体活動支援**

- ・民生委員児童委員協議会 ・老人クラブ連合会 ・遺族会
- ・身体障害者協議会 ・日本赤十字社土佐町分区 ・共同募金委員会

(5) **理事会(部会)の開催** 4 回 (内 部会1回)

理事会		決議事項	参加人数
第1回	令和3年5月28日 13:30～14:46	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度事業報告並びに収支決算承認について</li> <li>・令和2年度会計監査報告について</li> <li>・評議員選任解任委員の選任について</li> <li>・定時評議員会、理事会開催について</li> <li>・評議員、理事の候補者について</li> <li>・諸規定の一部改正について</li> <li>・令和3年度地域支援金の決定について</li> </ul>	理事 10 人 監事 2 人 計 12 人
	令和3年6月16日 15:00～15:52	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長、副会長の選任について</li> <li>・部会の構成について</li> <li>・各部部长、副部会長の選出について</li> <li>・顧問の選任について</li> </ul>	理事 8 人 監事 2 人 計 10 人
	部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部の事業説明、進捗状況などについて</li> </ul>	
第3回	令和3年12月3日 13:30～14:52	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉基金の取り崩しについて</li> <li>・令和3年度補正予算について</li> <li>・社協バス利用、廃車検討委員会報告について</li> </ul>	理事 6 人 監事 2 人 計 8 人

理事会		決議事項	参加人数
第4回	令和4年3月17日 13:30～15:41	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度法人本部拠点区分収支補正予算について</li> <li>・令和4年度事業計画について</li> <li>・令和4年度法人本部拠点区分収支予算について</li> <li>・老人給食検討会による「見守り訪問ふれあい便」事業提案について</li> <li>・監査・評議員会・理事会開催について</li> <li>・嘱託職員雇用契約について</li> <li>・令和4年度業務分担について</li> </ul>	理事 9人 監事 2人 計 11人

(6) 評議員会の開催

3回

評議員会		決議事項	参加人数
第1回	令和3年6月16日 13:30～14:20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度事業報告及び収支決算承認について</li> <li>・令和2年度会計監査報告について</li> <li>・理事、監事の選任について</li> </ul>	出席委員 11人
第2回	令和3年12月6日 15:00～15:55	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基金の取り崩しについて</li> <li>・令和3年度補正予算について</li> <li>・社協バス、廃車検討委員会報告について</li> </ul>	出席委員 11人
第3回	令和4年3月28日 13:30～14:09	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度法人本部拠点区分収支補正予算書について</li> <li>・令和4年度事業計画について</li> <li>・令和4年度法人本部拠点区分収支予算について</li> <li>・老人給食検討会による「見守り訪問ふれあい便」事業提案について</li> </ul>	出席委員 10人

- ▶ 監事監査 5月 18日
- ▶ 評議員選任解任委員会の開催 6月 10日

(7) 三役会の開催

1回

(8) 職員会 部会 主任会の開催と充実

- 主任会・職員会を実施し、健全な法人運営や事業経営をめざすとともに、報告・連絡・相談を徹底し各部門間の連携に努めた

- ▶ 職員会 12回
- ▶ 主任会 6回
- ▶ 在宅福祉部会 5回
- ▶ 地域福祉部会 8回
- ▶ 総務部会 1回
- ▶ あったか職員連絡会 6回

- (9) **職員面談の実施** 1回 (職員全員と事務局長)  
1回 (正職員・嘱託と会長副会長)

- (10) **訪問介護・障がい者相談支援事業の安定した経営のための人材確保**  
▶ 職安や折り込みチラシで、訪問介護員を募集した

専門機関からの支援を受け、コンプライアンスの徹底を図るとともに、職員の資質向上をめざし取り組みを進めました。

(1) **各研修・学習会への積極的参加**

○ 職員の資質向上のため、研修参加を促進した

- |             |     |    |     |
|-------------|-----|----|-----|
| ▶ 法人運営・会計関係 | 3日  | 延べ | 4人  |
| ▶ 在宅福祉事業関係  | 13日 | 延べ | 14人 |
| ▶ 地域福祉事業関係  | 13日 | 延べ | 13人 |

(2) **目標をもって業務にあたる評価できる体制づくり**

- ▶ 職員会・主任会で要綱を協議、評価シートを活用し実践

(3) **自主学習会(事例検討会)を実施し、協働体制を強化** 1回

(4) **大学・専門機関からの指導助言を促進** 随時

(5) **法改正に則した諸規程の見直し**

- ▶ 嘱託職員・臨時職員、パート職員就業規則一部改訂  
▶ 地域支援積立金規程一部改訂

(6) **先駆的な社協との交流・視察研修** 1回

- ▶ 10月18日 生活支援・介護予防連絡会で生活支援ボランティアの取り組みについて、奈良県山添村社協、高知県梶原町社協とオンライン研修を実施した

(7) **文書保存・破棄・管理**

- ▶ 文書保存・廃棄リストを作成

(8) **休暇取得等 処遇改善**

- ▶ パート職員の有給休暇取得を促進  
▶ 訪問介護員の賃金引上げ(令和3年4月1日より)  
▶ 嘱託職員の期末手当支払いを開始(令和3年4月1日規程改訂)

行政・各関係機関との連携を強化し、即応性のある支援体制をつくるよう努めました。  
また、第6次地域福祉活動計画と連動した事業の推進に努めました。

(1) **第6次地域福祉活動計画評価委員会の設置・運営**

- ▶ 8月31日 地域福祉活動計画評価委員会を実施  
評価委員・オブザーバ 11人 職員 2人 理事 1人
- ▶ 第6次計画推進懇談会を開催 ※コロナ感染拡大の影響で令和4年4月に実施繰り下げ

旧小学校区	月 日	場 所	時間
石 原	4 月 11 日	石原コミュニティセンター	18:30~20:00
平 石	4 月 12 日	平石コミュニティセンター	18:30~20:00
松ヶ丘	4 月 15 日	松ヶ丘コミュニティセンター	18:30~20:00
和 田	4 月 18 日	中和田集会所	18:30~20:00
地蔵寺	4 月 19 日	地蔵寺笑学校	18:30~20:00
田 井	4 月 22 日	田井農村環境改善センター	18:30~20:00
南 川	4 月 25 日	保健福祉センター	13:00~14:30
森	4 月 25 日	保健福祉センター	18:30~20:00
瀬 戸	4 月 26 日	瀬戸コミュニティセンター	10:00~11:30
相 川	4 月 26 日	相川コミュニティセンター	18:30~20:00

(2) **行政各課との連携強化**

- 行政・社協相互の事業の理解と連携を図るため連携会議を開催した
  - ▶ 健康福祉課との連携会議 2回
  - ▶ コロナウイルス感染予防対策についての打ち合わせ会議 3回

(3) **OJT(職場内訓練)に取り組み、各職務の役割を明確化して支援体制を強化**

- ▶ 個別目標シートを作成し、各職員が個々の業務・能力開発目標を定め取り組んだ

(4) **役職員の地域担当制の明確化と地域活動への参加**

- ▶ 各担当地区の支援の方向性について協議し、参加を支援

(5) **災害・事故等に関する行動計画を推進**

- ▶ コロナウイルス感染予防対策において、事業実施の対応目安を作成
- ▶ WEB会議・連絡のためのズームソフト・タブレット・カメラを導入(老人クラブと連携)
- ▶ 防災倉庫の整備と、災害時の備品等を補足(日赤と連携)

(6) 町・県の実施する連携に関する会議への参加

町	▶ 集落支援員連絡会	11 回
	▶ 役場地域担当者リーダー会議	7 回
	▶ 役場地域担当者会	12 回
	▶ 福祉課との連携会議(予算・コロナ対策・あったか等)	5 回
	▶ 生活支援・介護予防連絡会	4 回
	▶ 土佐町地域ケア推進会議(書面決議)	1 回
	▶ 土佐町地域ケア会議(個別ケア会議)	1 回
	▶ 土佐町要保護児童対策地域協議会実務者会議	3 回
	▶ あじさいネット会議	1 回
	▶ 四者会議 (県・県社協・町・社協)	2 回
	▶ 嶺北4町村社協事務局長 情報交換会	1 回
	▶ 地方公共交通会議	2 回
	県	▶ 市町村社協連絡会 事務局長等セミナー



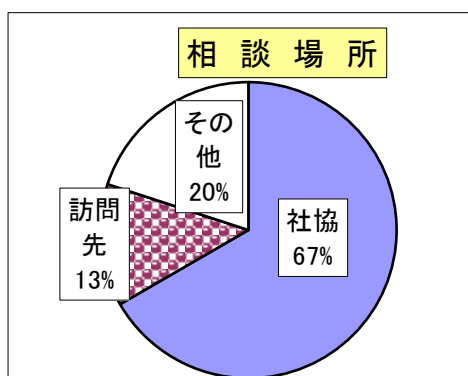
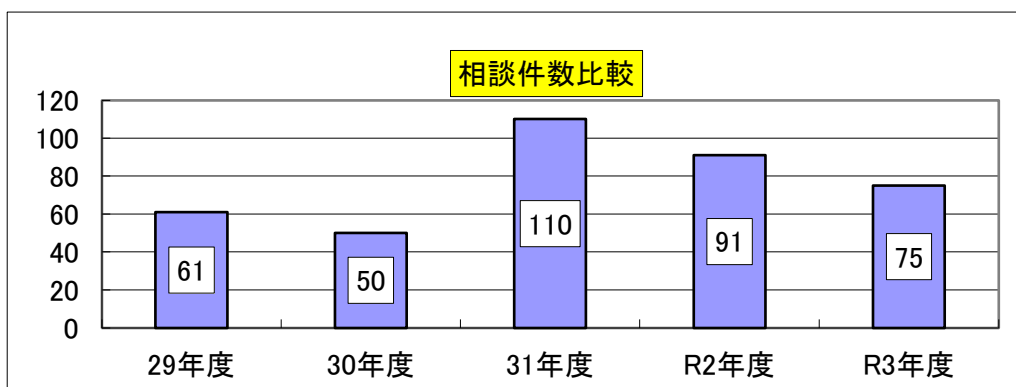
# ◆在宅福祉部門◆

身近で気軽に相談できるよう相談体制を強化し、訪問介護等により在宅における自立した暮らしを支援しました。

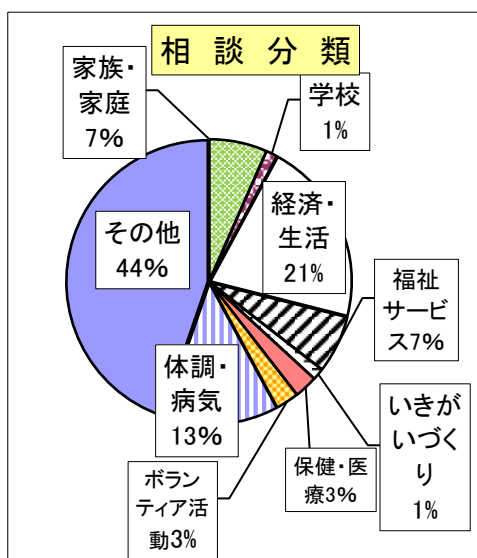
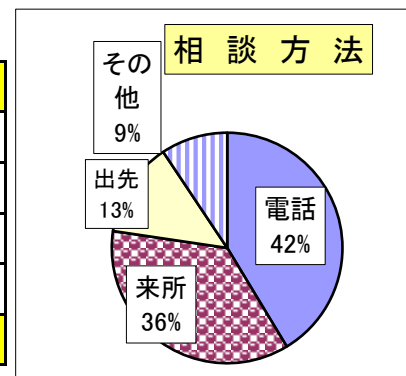
## (1) 電話や来所での相談対応(きいてねっと)

75 回

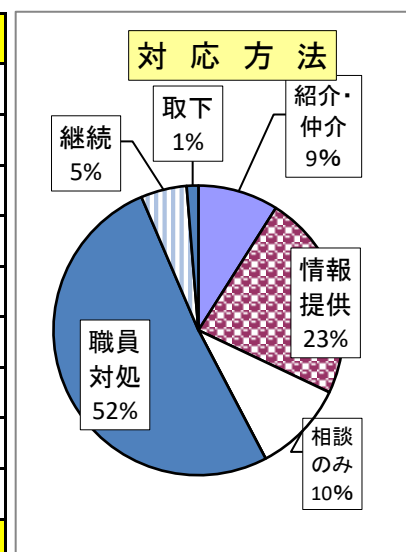
○ 総合的な相談窓口として相談を受け付け対応した



相談場所		相談方法	
50	社協	電話	31
10	訪問	来所	27
15	その他	出先	10
		その他	7
75	計	計	75



相談分類		対応方法	
2	ボランティア活動	紹介・仲介	7
5	家族・家庭	情報提供	18
1	学校	相談のみ	8
16	経済・生活	VC連携	0
5	福祉サービス	職員対処	40
1	いきがいづくり	継続	4
2	保健・医療	取下	1
10	体調・病気		
34	その他		
76	計	計	78



(2) 心配ごと相談所を活用した出張相談対応

11 回

※令和4年2月はコロナウイルス感染防止対策の為、開催中止

(3) 訪問介護・居宅介護を通じた在宅生活支援

○ 嘱託職員が産休・育休の為引き続き人員不足ではあるが、需要に合わせ安定供給に努めた

- ▶ 職員体制
  - ◎サービス提供責任者:1人(正規・介護福祉士)
  - ◎介護福祉士:2人(嘱託・非常勤) ◎2級ヘルパー:3人(非常勤)

▶ 介護保険事業

訪問介護事業 対象者 年間 26人 (令和4年3月現在 15人)

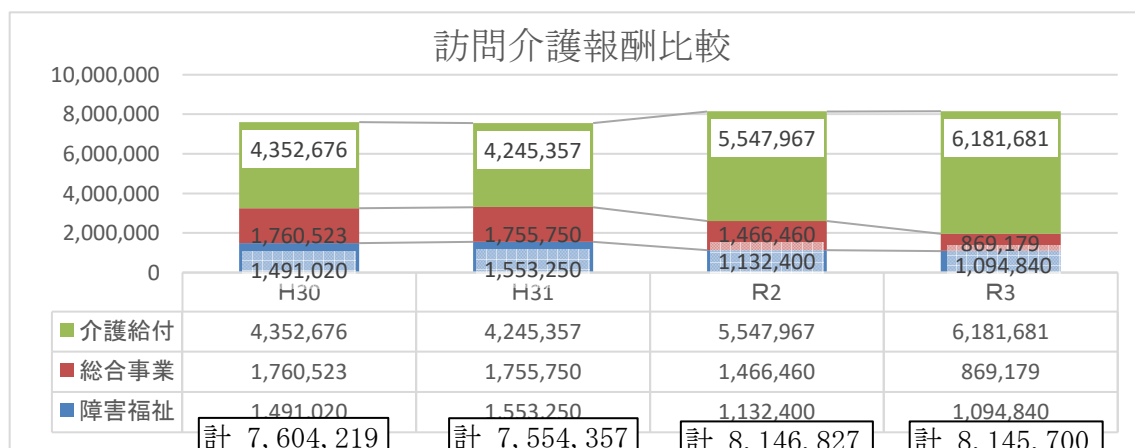
介護予防・日常生活支援総合事業

対象者 年間 9人 (令和4年3月現在 5人)

▶ 障害福祉事業 対象者 年間 4人 (令和4年3月現在 3人)

▶ 自立生活支援訪問事業(町委託金対象)

対象者 年間 0人 (令和4年3月現在 0人)



(4) 生活困窮者自立支援法に基づく自立支援

総合相談窓口として相談を受け、各機関と連携し対応に努めた

- ▶ 県・中央東福祉保健所・県社協・嶺北4町村社協等と、支援についての協議、連携
- ▶ 関係機関、各団体等の会合・あったかふれあいセンター等に参加し、協力依頼、情報収集
- ▶ 定期的に各支所、図書館等に関連チラシ等配布、協力依頼、情報収集
- ▶ 各事業所、農業関係団体等において雇用に関する協力依頼
- ▶ 各関係機関との連携や、支援が必要な住民に対する効果的なアプローチについて意見交換(支援調整会議や事例検討会参加)
- ▶ 県社協フードバンク、こうち食支援ネットと連携し、食糧支援
- ▶ 嶺北地域出張ハローワーク開設協力  
毎月第3火曜日午後1時から土佐町農村環境改善センターにおいて開設  
嶺北4ヶ町村の生活困窮者自立支援事業利用者・生活保護受給者が利用



(9) 低所得者層への福祉資金貸付けによる自立生活への支援及び償還指導

- ▶ 生活福祉資金貸付事業事務を県社協より受託

令和4年3月31日現在 貸付件数	36 件
令和3年度 新規貸付	20 件

上記のうち、新型コロナウイルス感染症特例貸付

- ・緊急小口申込:7件
- ・総合支援資金申込:13件
- ・相談のみ1件
- \*計21件に対応

○ 小口生活福祉資金貸付事業(自主財源:500,000円)

低所得者の在宅生活の自立更正を図るための相談体制づくり償還指導に努め、平成21年度貸付以来滞納していた1件が完済した

▶ 令和4年3月31日現在 貸付件数	0 件	(内保護費受給者0人)
▶ 令和3年度 新規貸付	0 件	

(10) 車椅子貸し出し

11 回

制度の間にある方に手を伸ばし、支援に繋げるよう努めました。

(1) 社会参加応援事業の活用

1 人 (助成金:42,500円)

- 社会参加できていない若い方の情報収集に努めた
- なんらかの事情で社会参加できていなかった方へ参加しやすい場になるよう努めた

(2) 社会福祉充実予算を活用した地域福祉活動の支援

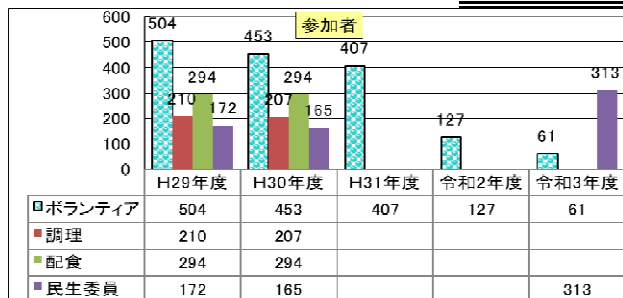
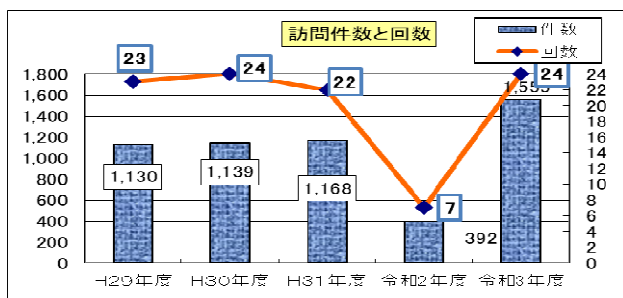
福祉充実予算活用に関する支援要請はなかった

(3) 老人給食を活用した声かけ訪問による状況把握

- ▶ コロナ禍により、老人給食事業は中止。民児協の協力を得「見守り訪問活動」を実施した
- ▶ 対象者 85歳以上独居高齢者及び見守りが必要と思われる方 85 人

▶ 訪問件数 1,555 件 (見守り訪問活動として)

▶ 訪問者 民生委員 延 313 人 ボランティア 延 61 人  
社協職員 延 73 人



各機関と連携した見守り活動を推進しました。

- (1) **民児委員・福祉推進員による地域の実態把握** 随時
- (2) **老人給食事業中止に伴い、見守り活動を実施した** 前頁記載

▶ 老人給食事業の見直しを図った

R3年4月～	コロナ禍により引き続き老人給食事業中止 (R2年3月～)
	見守り訪問活動の実施
10月4日	職員会にて協議
10月7日	民児協定例会にて見守り訪問について意見交換
11月1日	職員会にて協議
2月15日	老人給食事業の廃止と新規事業案について職員間で協議
2月22日	老人給食事業検討会の開催。新規事業案の提出
3月15日	老人給食事業の廃止、新規事業案「見守り訪問ふれあい便」の採択・承認

- (3) **見守り協定団体・警察との連携会議の実施** 実施なし

- (4) **緊急時の声かけ方法等の検討** 民児協等意識啓発 2回

- (5) **高齢者世帯防火防災点検の実施**

- 消防署、警察署、四国電力等と協力し、防災点検、防犯意識の啓発 実施なし
- 嶺北電気工事業組合のボランティア事業で、電気点検や配線の簡易な修理を4年に1度巡回実施 本年度非該当

地域における支援体制づくりに努めました。

- (1) **生活支援・介護予防連絡会の協働開催** 4回

▶ 生活支援ボランティアのしくみづくりを協議した

- (2) **地域内での助け合いの促進のため、で愛ふれ愛たすけ愛懇談会実施**

▶ 上ノ土居地区をモデルとして12月16日開催

参加者 11人 (地区長・民児委員・生活支援CO・地域包括職員・社協職員)

- (3) **傾聴ボランティア訪問**

- コロナウィルス感染症拡大状況をみながら、社協に来所してもらったり、職員とボランティアが訪問するなどして、傾聴を実施

▶ 対象者 1人 9回

(4) 認知症地域支援推進員を配置

○ 認知症サポーター養成等理解促進のための学習会を開催

- ▶ あじさいネット会議の開催 1回 27人
- ▶ 多職種協働による事例検討を実施 1回 ※感染症拡大防止の観点から講座に変更
- ▶ 認知症の人やその家族を地域で支える体制づくり

グループ回想法の実施

つどい	月日	参加人数	講師・スタッフ
東石原桜会	11月3日	7人	キャラバンメイト・認知症地域支援推進員
あったか平石のつどい	12月14日	6人	あったか職員(地域サポーター)
あったか森のつどい	1月20日	14人	あったか職員(地域サポーター)
あったか松ヶ丘のつどい	3月16日	11人	あったか職員(地域サポーター)
とんからりんの家	3月23日	3人	キャラバンメイト・認知症地域支援推進員
とんからりんの家	3月24日	6人	キャラバンメイト・認知症地域支援推進員
あったか和田のつどい	3月25日	15人	あったか職員(地域サポーター)
とんからりんの家	3月28日	5人	キャラバンメイト・認知症地域支援推進員

回想法DVD、写真集等の購入

▶ 職員やキャラバンメイト等の資質向上に向けた学習会の実施

テーマ	月日	参加人数	講師
わたしの介護体験について	11月11日	27人	キャラバンメイト(認知症家族の方)2名

- ▶ 令和3年度認知症セミナー(中四国厚生局地域包括ケア推進) 1回 2人
- ▶ 高知県認知症カフェ交流研修会へ参加 1回 3人
- ▶ 認知症に関する正しい知識の普及啓発  
世界アルツハイマーデー9/21 土佐町企業等訪問活動の実施 16件  
スタッフ:キャラバンメイト、認知症サポーター、地域包括支援センター職員、認知症地域支援推進員
- ▶ あったかふれあいセンター集い等にて認知症の方をサポート 7回  
あったかふれあいセンター集いにてキャラバンメイト・認知症サポーターによる支援
- ▶ ケアパスの活用(訪問活動や学習会で活用)
- ▶ 小学校での読み聞かせボランティアを活用した認知症理解への学習 8回

(5) 介護家族のつどいの開催

4回

※2回は新型コロナウイルス感染防止対策の為、実施中止

- ▶ 出張型(つどいに参加できない方に対し、他の施設や自宅にて話し合いの場を設ける)

7回

行政・関係機関と連携し、個々のニーズに対応するよう努めました。

- (1) 民児協との連携による保育・学校・保護者との連携づくり
  - ▶ 新入学時の説明会に参加し、民生委員について説明会は未実施
- (2) 地域包括支援センター・行政や民児協等関係機関(者)との連携による協働支援  
(ケース会の実施) 28回 内ネットワーク面談23回
- (3) 関係機関と情報共有、ケース会
  - ▶ 要保護児童対策地域協議会へ参加 3回
- (4) 嶺北地区自立支援協議会へ参加し障害者の課題解決にむけた取り組み  
実施なし
- (5) 民児協・学校・保護者・関係機関と連携を強化し、子どもたちの適切な見守り・支援
  - ▶ 障害児や自立支援が必要な世帯にある児童への見守りについて、個々のケースに対応して必要なつながりづくりに努めた
- (6) 就労継続支援B型作業所へ協力し、連携する
  - ▶ 「土佐町ものがたり」Tシャツプリント、カレンダー作業を通じ関係づくりに努めた
- (7) 「やまびこ倶楽部」を通じ、現状の把握や相談に応じる
  - ▶ やまびこ倶楽部 2回
  - ▶ デイケア交流会あったかハートふれあい大会に協力 実施なし
- (8) 身障協等と連携し、障害(児)者の社会参加への取り組み
  - ▶ 災害用グッズの配布  
感染防止対策のため、外出支援は未実施

## ◆地域福祉部門◆

ボランティアセンター役割の明確化と職員の資質向上を図り、より多くの方々が地域活動に参加できる機会をつくりました

### (1) ボランティアセンター運営計画の作成

- ▶ 地域福祉部会にて検討 3回

### (2) ボランティア登録の推進

- ▶ 個人・団体の登録を推進 27団体 個人 61人

### (3) ボランティアに関する調査・研究

#### ○ ボランティアに関する研修への参加

- ▶ 10月29～30日 地方創生実践塾（島根県邑南町） 1人
- ▶ 12月7日 高知県難病医療に関する研修（zoom参加） 1人
- ▶ 2月26～27日 多様なコーディネーション実践研究集会（zoom参加） 2人
- ▶ 1月17日 学校・地域と協同した地域福祉教育実践 2人

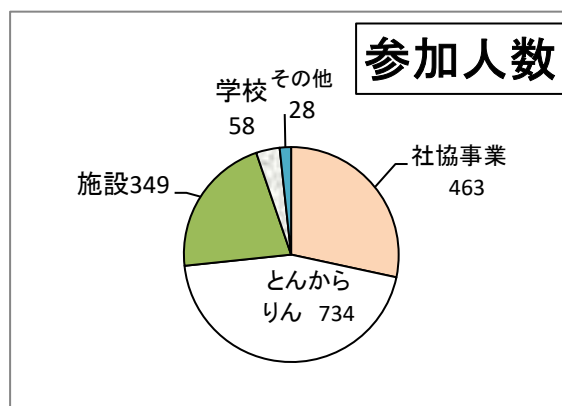
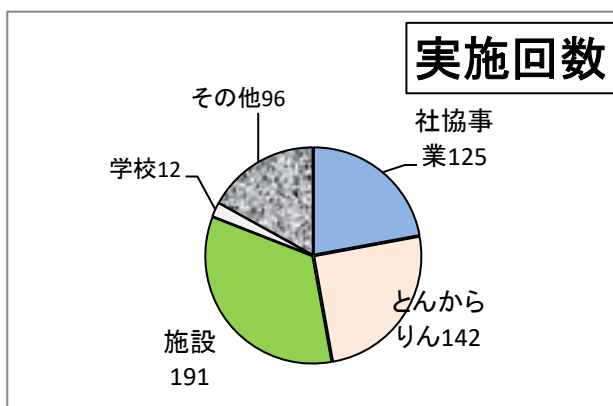
### (4) ボランティア養成講座の実施

- ▶ 傾聴ボランティア養成講座 14人

### (5) センターのマッチングによるボランティア活動の促進

あったかふれあいセンターへのボランティアコーディネート 159回 754人

- ▶ ボランティア登録・相談及び実績記録を整備した



- 折鶴つなぐボランティア 延べ33名
- 訪問活動に贈る折り紙作成を小学生に依頼した 70ヶ作成
- 奨学金返還免除のための地域貢献活動の支援（対象：大学生・専門学生） 11名（実人数）



(6) NPO・ボランティア団体への活動支援

○ 企業、団体の活動支援とボランティア募集を行った

- ▶ 5月 29日 相川ららら棚田ウォーキング準備 ※イベントは中止
- ▶ 6月 7日 瀬戸川ロマン下草刈り
- ▶ 9月 25日 土佐町小中学校スポーツフェスティバルにてパン等配布(こども元気村)
- ▶ 9月 26日 森地域振興会 森中跡公園清掃作業
- ▶ 9月 30日 瀬戸川ロマン下草刈り
- ▶ 11月 6日 石原音楽祭
- ▶ 12月 19日 平石お菓子イベント(活動計画)
- ▶ れいほくねこ部助成金・イベント支援

(7) NPOや企業等との関係強化

- ▶ ほにゃらら新聞配布先への声掛け訪問を実施した 3回

(8) NPO団体とのランチミーティングの開催

実施なし

(9) 災害に備えた体制整備の強化

- ▶ 学習会実施予定だったがコロナ禍で中止

(10) 地域福祉活動及びボランティアに関する情報の発信

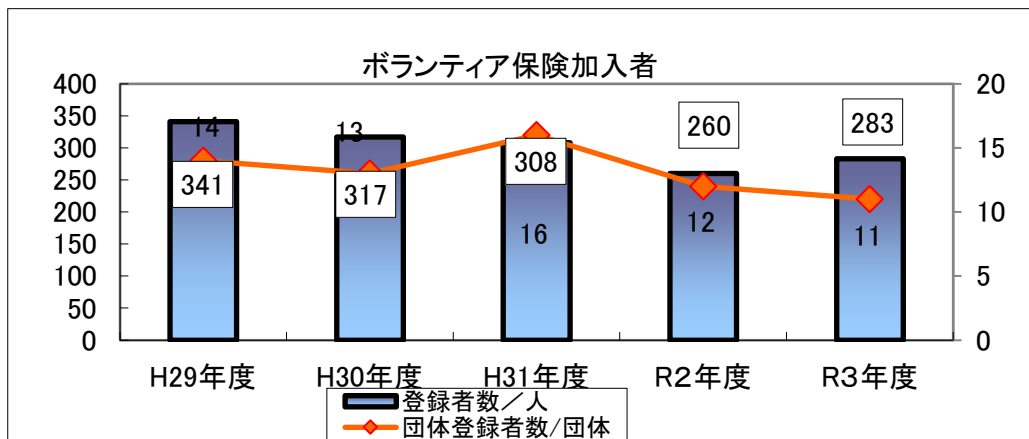
- ▶ ほにゃらら新聞を発行(1,140部/1回) 3回

(11) レク資材・印刷機等の貸し出し

- ▶ レク資材 プロジェクター等資材 11回
- ▶ 印刷機利用 22回

(12) ボランティア活動保険への加入促進

加入件数 11団体 283人



次世代ボランティアの育成と地域や学校における福祉教育の充実を図りました。

(1) 福祉教育推進計画の作成 未着手

(2) 学校や教職員との福祉教育の推進に係る懇談の実施  
 ▶ 土佐町小・中学校校長と小・中総合学習の系統などについて協議 2回

(3) 学校と地域を結ぶ授業カリキュラムの作成・授業のサポート

学校名	打合せ	授業	講師・ボランティア(延べ)
土佐町小学校	6回	5回	25名
土佐町中学校	4回	4回	31名
嶺北高校	6回	3回	2名

(4) 若年層への地域活動や講座の参加促進等の啓発  
 ▶ 「ペットも人も幸せに私たちにできること」講座開催 22名

(5) 小地域の要望・課題に合わせた福祉教育・生涯学習の機会の提供  
 ▶ 社協出前教室の一覧表を作成し、地区長会や懇談会でPRした

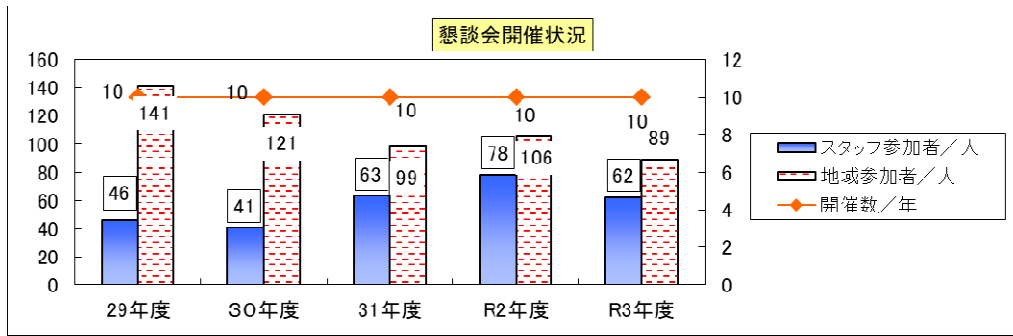
(6) 学生を対象とした福祉・ボランティアワークキャンプの実施  
 ▶ 小学生高学年対象に実施 14名

第6次地域福祉活動計画の目標達成に向け、住民が主体的に活動できるよう支援をしました。

(1) 地域(福祉)活動支援センター(仮称)の増設に向けた取り組み 実施なし

(2) 地域アセスメントシートの活用  
 ▶ 地域アセスメントシートを更新。評価委員・職員・関係機関職員に配布し共有した  
 ▶ 生活支援介護予防連絡会等で、用いて協議をした  
 ▶ 役場地域担当リーダー会にて配布し、会議に活用した

(3) 住民同士の話し合いの場づくり  
 ▶ 活動目標の達成に向け、活動計画を推進する懇談会を旧小学校区単位で実施した  
 ※コロナウイルス感染防止対策の為、開催時期を令和4年4月に実施 10回



- ▶ 活動目標推進に向けた推進団体等の話し合いへの支援を行った 46 回  
内訳(松ヶ丘3回、石原9回、相川3回、森30回(内、中央2回)、平石1回、和田2回)

(4) **地域活動支援交付金の活用を促進**

- ▶ 5団体より申請があり、以下のとおり交付され活動に活用された  
和田を元気にする会(100,000円)、平石地区(200,000円)、黒丸地区(106,000円)、  
カレーの日実行委員(110,000円)、地藏寺自主防災組織(106,920円)

(5) **行政地域担当職員・支援員・協力隊等地域支援における連携会議の開催・参加**

- ▶ 集落支援員・産業振興課・健康福祉課・社協の連絡会に参加 11 回
- ▶ 役場地域担当者リーダー会議に参加 7 回
- ▶ 役場地域担当者会に参加 12 回

(6) **まちづくりメイトとの連携による、継続した計画の推進**

- ▶ 推進懇談会への参加案内

(7) **地域担当職員の役割の明確化と地域支援の強化**

- ▶ 職員会にて地域担当職員の役割について説明し協議を行った 1 回

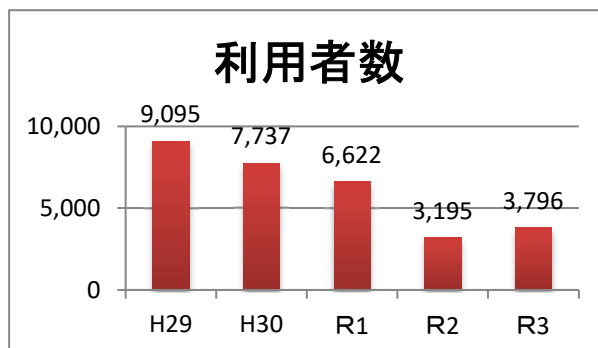
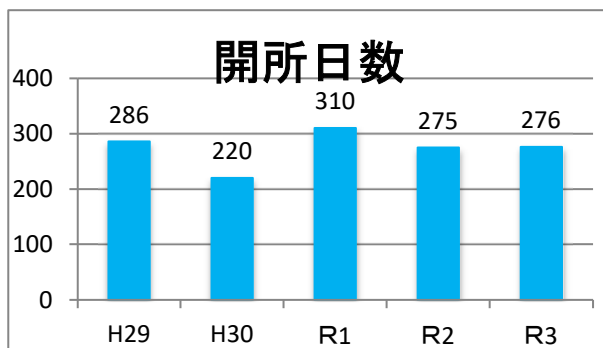
旧小学校区におけるコミュニティを持続し、支え合いの基盤をつくり、誰もが参加し活躍できるあったかふれあいセンターの機能強化を図りました。

(1) **サロンコーディネーター・地域サポーターの配置**

- ▶ サロンCoを1人、地域サポーター5名を配置し事業を実施

(2) **拠点・サテライトの安定的な集いの開催(集う)**

- ▶ 9月、2月はコロナ感染予防対策として、集いは中止。訪問活動を継続して行った  
155回 延べ 1,186人
- ▶ 6月から感染予防対策をとりつつ、つどいを開催(6~3月)  
276回 延べ 3,796人



(3) **あったかふれあいセンター推進会議の実施し住民主体の活動を推進**

- ▶ 活動評価、計画の策定、生活課題の情報共有 10回 延べ 157人
- ▶ 10か所におけるサテライト開設

○ あったかふれあいセンター事業を受託し、サロンCoを配置し事業を実施した

9月、2月はコロナ感染予防対策として、集いは中止。訪問活動を継続して行った

集う	276回	延べ	1,617人
交わる	3回	延べ	4人
学ぶ	19回	延べ	179人
送る	116回	延べ	1,273人
生活支援	32回	延べ	85人
訪問	155回	延べ	1,186人

(4) **利用していない方等への訪問活動(訪ねる)**

- ▶ 地域サポーターと、訪問対象者をピックアップし利用者の拡大を図

(5) **異世代・地域外との交流の機会の増強(交流)**

- ▶ 夏休みプロジェクト 2回 延べ 44人

(6) **専門的指導を強化し、いきがづくりや、健康・教養等の学習プログラムの実施(学ぶ)**

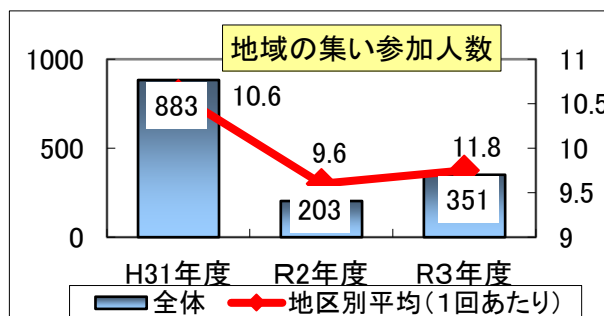
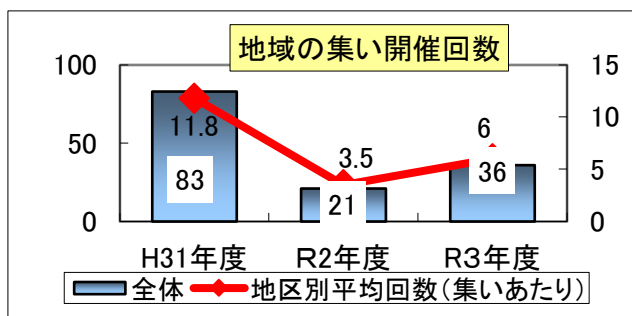
- ▶ 学ぶ 19回 延べ 179人
- ▶ 理学療法士による体力測定や指導及び、健康運動指導士による体操教室の実施  
11箇所 149人

○ 介護予防普及啓発事業(町受託)の推進

コロナ禍で集い開催に不安がある中、消毒等のコロナ対策をとりながら地域での転倒予防体操普及に努めた

▶ 地域の集いにおける転倒予防運動の実施

実施集い人	回数	参加人数	
		実人数	延べ人数
中島ふれあいの集い	3	15	32
上野・田井ふれあい喫茶	4	31	78
桜会	9	10	42
上ノ土居の集い	9	17	62
田井なでしこふれあいの集い	5	24	95
舞田の集い	6	8	42
合 計	36	105	351



▶ あったかふれあいセンターにおける転倒予防運動の実施

サテライト拠点	回数	参加人数	
		実人数	延べ人数
平石	9	12	67
地藏寺	17	30	296
和田	6	13	61
森	37	28	514
石原	9	24	126
松ヶ丘	9	19	128
相川	10	12	82
南川	7	14	57
黒丸・下瀬戸	1	5	5
とんからりんの家	142	55	1,503
合 計	247	212	2,839

▶ 若い世代に向けての普及啓発教室を開催

若い世代に向けての教室(フレイル予防教室)	5回	50人
トレーニングサポーター養成講座	4回	50人

▶ 自主開催を行っている地域の集いへの外出支援を実施 5ヶ所 103人

- ▶ 包括支援センターと連携し高知県が実施する健康パスポートの取組みを実施
- ▶ 普及啓発のためのリーフレットをフレイル予防教室等で活用
- ▶ 保健師と協同でフレイル予防教室にてフレイル予防・口腔ケアについての講和を実施

2回          22人

(7) **バス・ゆうあい号の活用等ニーズに沿った送迎体制・外出支援の充実**

○ ゆうあい号・バスを有効活用し送迎の支援をした

- ▶ ゆうあい号 利用回数 145回 (とんからりん:142回 行政:3回)
- ▶ 社協バス 利用回数 4回 (社協:1回 学校:3回)
- ▶ あったか強化事業において、送迎における運転手雇用を継続
- ▶ あったかふれあいセンター及びとんからりんの家利用者の送迎

○ マイクロバスの利用・廃車についての検討会開催 11月25日

- ▶ 運転手、教育委員会、NPO団体等12名で検討会を開催し、「住民の皆様の寄付で購入したバスについて、住民のために今後どのような活用方法があるか」を検討財源確保と活用頻度等を鑑み、理事会を経て令和4年3月廃車となる。

(8) **ゲートキーパー機能を意識し、必要な支援につなぐ**

- ▶ つなぐ(行政・家族・民生委員等) 52回          83人

(9) **地区の実情とニーズに沿った集いの開催・検討**

- ▶ 宮古野地区でつどいの開催 10回          65人

(10) **住民主体の集い運営の支援**          地域の集い連絡会          1回          7人

(11) **地域見守りマップ(仮称)の作成**

○ あったかの集いにて利用者と一緒にマップ作りを行った

- ▶ 石原・南川で作成、森・瀬戸は進行中

(12) **働ける場やしくみをつくるなど集い機能の強化**

○ 田井地域における新たな集いの開催に向けた取り組み

- ▶ 田井地域のフィールドワーク 4回
- ▶ おっちゃんの集いの試験的な開催 8回

(13) **日常生活上の課題解決に向けた支援**

- ▶ 生活支援 32回          延べ 85人